

# 高知県流域下水道事業経営戦略【概要版】

## 1. 経営戦略策定の趣旨

### 1. 背景と目的

下水道事業においては、人口減少や施設の老朽化に伴う更新費用の増大等により経営環境が厳しさを増している状況にあり、下水道サービスの安定的な継続のためには、中長期的な視野に基づく計画的な経営に取り組み、経営健全化を図る必要があります。

本県の流域下水道事業を安定的かつ持続的にサービスを供給するために、令和2年4月1日から地方公営企業法の一部（財務規程等）を適用するとともに、中長期的な経営の基本計画である「高知県流域下水道事業経営戦略」を策定します。

### 2. 計画期間 令和3年度から令和12年度（10年間）

## 2. 経営の基本方針

### 1. 経営理念

安定的かつ持続的な下水道サービスの供給

### 2. 基本方針

#### （1）施設の老朽化対策の推進

ストックマネジメント計画に基づき、優先順位や事業費の平準化を考慮した施設の改築更新、修繕等を実施します。

#### （2）南海トラフ地震等に備える地震・津波対策

設備の緊急性、重要性を考慮した目標を設定の上、対策を実施し、有事の処理場機能停止リスクを軽減します。

#### （3）効率的な維持管理の実施

適正な維持管理水準を確保した上、民間の創意工夫による効率的な運営手法を取り入れた包括的民間委託を導入し、維持管理費の抑制努力を継続していきます。

#### （4）資源・施設の有効利用

下水汚泥を消化した際に発生する消化ガスを利用して再生可能エネルギーによる発電事業を行い下水汚泥のエネルギーを有効活用を推進します。

また、処理場空間の有効活用として、未利用地のグラウンド利用を継続します。

## 3. 投資・財政計画

### 1. 投資・財政計画（収支計画）

収益的収支（単位：百万円）

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
収益	1,346	1,305	1,367	1,433	1,534	1,609	1,592	1,598	1,602	1,614
費用	1,346	1,305	1,367	1,433	1,534	1,609	1,592	1,598	1,602	1,614
差引	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※収益の主な財源である維持管理負担金は精算（翌年度）するため、実態として差引0となる。

資本的収支（単位：百万円）

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
収入	485	1,526	1,923	2,681	2,351	474	1,080	860	1,074	1,403
支出	485	1,526	1,923	2,681	2,351	474	1,080	860	1,074	1,403
差引	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※財源不足が生じた場合は補填財源により補填するため、実態として差引0となる。

### 2. 投資・財政計画（収支計画）の策定に当たっての説明

#### ○地震・津波対策

南海トラフ地震や津波による被害を抑えるため、耐震・耐津波対策を実施します。

#### ○改築更新投資

ストックマネジメント計画に基づき、施設の老朽化対策の実施など事業全体で優先順位をつけながら、投資の平準化を図ります。

#### ○新規投資

今後の流入水量などの見通しにより、水処理施設及び消化タンクの増設を見込んでいます。

#### ○委託料

収益的支出（費用）の主なものとしては、包括的民間委託による処理場の運転管理委託料、汚泥の運搬・処分委託料となっています。

## 4. 事後検証

### 経営戦略の見直し

投資・財政計画や各種計画の実施状況を把握し、計画との乖離が大きい場合や高知県全域生活排水処理構想、流域別下水道整備総合計画、ストックマネジメント計画などの関連計画の改定時や更新時に、必要に応じて経営戦略を見直します。